認知症サポーター小学生養成講座

市内全小学校からの申請をいつでもお待ちしてます!!

認知症の人を温かい目で見守れる心を育てるため、授業の1単位(45分～50分)または2単位で講座を実施します。対象は小学校4年生で、「認知症とはなんだろう？」をテーマに講座を行います。講座に興味のある市内の小学校は、ぜひお問い合わせください。(問合せ先　社協 本所　76-4111)

声を磨き、伝える力をUP! ～朗読奉仕員養成講座～

広報紙等に掲載されている情報を耳から得ていただくため、声で伝えるボランティアがあります。目の不自由な人、文字が読みにくい高齢者、日本語に不安のある外国籍の人に向け、声で伝えるための知識や技術を有する奉仕員を養成する朗読奉仕員養成講座を２月５日(水)、12日(水)、19日(水)の全３回で実施しました。

今年は群馬県点字図書館の音訳専門員である矢尾板洋子氏を講師にお招きし、発声練習を通じて、わかりやすく伝える工夫や技法を教わりました。

住民主体活動を紹介します

活動紹介㊴

笠懸町第２区　健康マージャン

賭けない･飲まない･吸わない､健康マージャン。認知症予防、新たな交流の場としてひそかなブームとなっています。笠懸町第２区では、毎週月・土曜日に公民館で開催中です。当初は10人でしたが、今では37人が集まり会場は熱気に包まれています。参加者に感想を聞いたところ「初めてでも親切に教えてもらい、今では自宅に台を購入し３世代で楽しんでいます」と、話してくれました。

◀２区公民館の様子

また、笠懸老人憩の家では原則毎週水・金曜日に台を常設しています。経験のない人も大歓迎!!興味のある人は気軽に問い合わせください。(問合せ先　笠懸老人憩の家 76-5064)

活動紹介㊵

笠懸町第７区　自主訓練

２月16日（日）笠懸町第７区で自主防災訓練が行われました。その際、社協 地域福祉推進課 齋藤主任が災害時における社協の役割や能登半島地震災害ボランティアセンター運営支援の経験を踏まえて防災講話を行いました。その後、消火訓練を行い、非常事態への備えを確認しました。

新井久夫区長は「いつ起こるかわからない災害に備えて、自分事として訓練は定期的に必要であることが、あらためて分かりました」と感想を述べていました。

社協では自主防災活動を支援するとともに、災害時には災害ボランティアセンターを設置します。被災者支援にご協力いただける人は、本誌４ページのQRコードからボランティア登録をお願いします。